

第 46 回 全国消防救助技術大会

結 ～感謝そして未来へ～



主催／一般財団法人 全国消防協会・仙台市
後援／総務省消防庁・全国消防長会・宮城県



結 ～感謝そして未来へ～

2017年8月23日（水）

会場 宮城県総合運動公園 グランディ・21

消防救助の基本であるロープ結びの結の字に「人と人、心と心の結びつきを大切にしていく」という意味を込め、さらには大会やイベント企画等を通じて「震災時の支援に対する感謝」を伝え、「未来を切り開く仙台・宮城の姿」を発信する想いを表現するため、『結く感謝そして未来へ』をスローガンに、全国の消防救助隊員が集い、第四六回全国消防救助技術大会を、多くの来賓と市民をお迎えし盛大に挙行了しました。

この大会は、日頃鍛え抜いた消防救助技術を披露するとともに、高度化に必要な基本的要素の練磨を通じて、消防救助活動に不可欠な体力、精神力、技術力を養い、全国の救助隊員が一堂に会し、競い、学ぶことを通じて、他の模範となる消防救助隊員を育成し、全国民の消防に寄せる期待に力強く応えることを目的として毎年開催しており、今回で四六回を数えるに至りました。

平成二三年三月一日、未曾有の被害をもたらした東日本大震災以降はじめてとなる被災地東北地方での大会開催は、平成二四年度に仙台で大会を開催する予定をしていたものの、東日本大震災が発生し開催が出来なかった経緯もあり、念願の仙台・宮城大会となりました。開催場所である宮城県総合運動公園は、東日本大震災の際に緊急消防援助隊の活動拠点となった忘れることのできない場所であり、「震災時の支援に対する感謝」や「未来を切り開く仙台・宮城の姿」を発信する感動的な大会となりました。

さて、大会当日は、連日降り続いた雨が嘘のように好天に恵まれ、その青空の下参加隊員一同が集結し、会場は一般見学者や消防関係者など約二二、〇〇〇名で埋め尽くされました。

午前八時五五分、消防団音楽隊の軽快な演奏に合わせ、国際消防救助隊、緊急消防援助隊をはじめ、全国九地区支部から選抜された陸上の部七〇四名、水上の部二三〇名の精鋭たちが堂々と入場し、仙台・宮城大会実行委員長である中塚仙台市消防局長の開会宣言で大会の幕は開きました。

開会式ではまず、消防使命達成のため殉職された消防職員の御霊に対し黙とうが捧げられ、国旗・大会旗の掲揚、大会会長である村上全国消防協会会長のあいさつ、開催地である郡仙台市長のごあいさつ、稲山消防庁長官、秋本日本消防協会会長、山田宮城県副知事、岡部市議会議長のご祝辞、仙台市長の土田北九州市消防局長による審判長指示が行われました。中でも、畠山さんの「感謝のことば」は、震災時の恐怖から消防隊が到着した時の安堵感、さらには全国から被災地に駆け付けてくれたことへの感謝の気持ちに込め込まれており、最後に『皆様の活動のおかげで、私たちは今、こうして元気に生きることができています。』と前を向き、心のこもった声で伝えました。その後、出場隊員を代表して仙台市消防局の土田隊員が力強く隊員宣誓を行いました。

開会式の終了後には、『ベガルタチアリーダーズ』によるオープニングアトラクションが行われ、これから始まる訓練に向けて会場の熱気は一気に高まりました。

午前一〇時〇〇分、いよいよ訓練の幕が上がります。まずは『津波により押し流された家屋や車両の上に、救助を求める複数の住民が取り残された現場』を想定した技術訓練が行われました。その後の各種目では、それぞれの地区指導会の激戦を勝ち抜いた精鋭たちが、人命救助のプロとしての誇りと絶対負けず諦めない強い気持ちと仲間を信じ救助に立ち向かう姿が、水上の部では、鍛え抜かれた体躯から繰り出される精練された技術と最後まで助け抜くという姿勢が、訓練を見守る多くの人々の心を揺さぶり、感動を与えました。また、大会のスローガンである『結く感謝そして未来へ』に込められた想いそのままに、各隊員は訓練を通じて「人と人、心と心の結びつき」を体現し、観覧席から隊員に送られた歓声や激励は「震災時の支援に対する感謝」のようにも聞こえ、まさに「未来を切り開く仙台・宮城の姿」がそこにはありました。

訓練の締めくくりは、技術訓練。陸上会場では『津波で被災した二階建て建物屋上に、救助を求める住民が取り残されている現場』をテーマに、また、水上会場では『釣りをして入水した男性二人の内一人が誤って落水し流され、救出しようと意工夫を凝らした救助技術を披露しました。その技術を細部にわたるまで吸収しようと、訓練を見守る救助隊員の眼差しは真剣そのものでした。』

また、本大会と同時に開催した市民イベントでは、広大な訓練会場を有効に活用し、防災体験エリア、防災・減災まなびのエリア、消防車両展示エリア等様々なイベントが催され、楽しみながら防災を知る工夫がされており、参加された市民からは、楽しみながら防災を知ることができ、防災に関する意識が高まったという声が多く聞かれ、防災意識の向上に繋がる大きな成果となりました。

閉会式では、村上大会会長が各種目の入賞者を表彰し、訓練の講評を行いました。

国旗降納に続いて、大会旗が中塚仙台市消防局長から次期開催地の荒木京都市消防局長に引き継がれ、荒木京都市消防局長が次期開催地としてあいさつしました。最後に、中塚仙台市消防局長が開会を宣言し、第四六回全国消防救助技術大会は幕を下ろしました。

残暑が続く中、多くの来賓と市民の皆様にご来場いただき、成功裏に大会を終えることができました。仙台市消防局の皆様をはじめ、大会運営にあたられた全ての方々に対し、心より感謝申し上げます。



挨拶

一般財団法人全国消防協会

会長 村上 研一

第四六回全国消防救助技術大会を仙台・宮城で開催するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。
まず、今大会の開催にあたりまして、稲山消防庁長官、秋本日本消防協会会長、山田宮城県副知事をはじめ、多くのご来賓の方々にご臨席いただきましたことに心から感謝を申し上げます。
さて、ここ宮城県総合運動公園において全国消防救助技術大会を開催するにはひとしおの感慨がございます。

ここ仙台・宮城の地では、五年前の二〇一二年に全国消防救助技術大会を開催する予定でしたが、東日本大震災により大きな被害が生じたため、仙台での開催を見送らざるを得ませんでした。そして、本日開催地となっております宮城県総合運動公園は、緊急消防援助隊の進出拠点として活用された場であり、多くの消防職員が、この場から被災者の救助へと出発していきました。

この地で改めて開催される今大会は、当時の消防職員たちの想い、また、発災から六年間の多くの消防職員の想いが詰まった大会です。東日本大震災では、多くの消防職員、団員が亡くなりました。志半ばで亡くなったといった彼らの事を思うと、本当に胸の詰まる思いです。今大会に参加する皆様には、彼らの分まで精一杯力を発揮していただきたいと思えます。

先日、NHKの放送で、千葉県消防救助技術指導会の映像が流れました。その中で、第一回全国消防救助技術大会の写真や第三回大会の映像がございましたが、当時の技術と比べ、現在の技術が格段に進歩していることに、改めて感嘆いたしました。四六年という年月において、我々消防人の魂は受け継がれ、技術は進歩しております。今日の救助大会では、皆様の救助技術が余すところなく示されることを期待いたします。
結びに、本大会の開催にあたり、郡仙台市長をはじめ、仙台市ご当局的の皆様、仙台市消防局の中塚局長、宮城県内の多くの消防本部の皆様のご支援に深く感謝を申し上げますとともに、ご列席の皆様、ご来場の皆様のますますのご健勝を心からご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



祝辞

仙台市議会議長
岡部 恒司



祝辞

宮城県副知事
山田 義輝



祝辞

日本消防協会会長
秋本 敏文



挨拶

仙台市長
郡 和子



次期開催地あいさつ
京都市消防局
荒木 俊晴



審判長指示
北九州市消防局長
土田 久好



開会宣言・閉会宣言
仙台市消防局長
中塚 正志



感謝の言葉
仙台市立七郷中学校
畠山 颯汰

陸上の部

ロープブリッジ渡過（基礎訓練）



水平に展張された渡過ロープ（二〇メートル）（往復四〇メートル）を往路はセーラー渡過、復路はモンキー渡過する。ロープ渡過の基本的な訓練。

【標準所要時間 二八秒】

表彰者

【北海道】

室蘭市消防本部 原田委里治
富良野広域連合消防本部 辻本 浩哉
とかち広域消防局 関原 拓郎

【東北】

弘前地区消防事務組合消防本部 手塚 正宣
鹿角広域行政組合消防本部 虎渡 智実

宮古地区広域行政組合消防本部

鶴岡市消防本部 北俣 誠翼

仙南地域広域行政事務組合消防本部 我孫子 誠

石巻地区広域行政事務組合消防本部 玉手 佑太

郡山地方広域消防組合消防本部 香月 昂飛

上越地域消防事務組合消防本部 鈴木 俊

【関東】 兼村 修平

桐生市消防本部 新井 健太

南那須地区広域行政事務組合消防本部 佐藤 和馬

常陸大宮市消防本部 坪 俊行

吉川松伏消防組合消防本部 加崎斗史輝

安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部 下羽 功貴

東京消防庁 高比良 徹

横浜市消防局 佐々木 豪太

甲府地区広域行政事務組合消防本部 古屋 孝明

【東海】 佐久広域連合消防本部 望月 聖也

静岡市消防局 柳澤 陽

尾三消防本部 土井 翔太

本巣消防事務組合消防本部 前川 祐貴

【東近畿】 鈴鹿市消防本部 辻 篤志

白山市消防本部 田上 純也

嶺北消防組合消防本部 安間 貴則

湖北地域消防本部 山内 飛鳥

宇治市消防本部 新納 史久

奈良県広域消防組合消防本部 名迫 晃佑

【近畿】 有田川町消防本部 箸尾 知哉

【中国】 大阪市消防局 鳥越 道矢

三木市消防本部 萩原 俊

【中国】 総社市消防本部 茅原 徹

鳥取中部ふるさと広域連合消防局 津村 涼二

【中国】 廿日市市消防本部 久保田 真

雲南消防本部 石川 暁斗

【四国】 仲多度南部消防組合消防本部 白川 和樹

美馬市消防本部 緒方 亮介

松山市消防局 細川 雅俊

土佐市消防本部 石田 尚也

【九州】 八女消防本部 山下 晟矢

佐賀広域消防局 久保田 晃司

松浦市消防本部 宮崎 健光

八代広域行政事務組合消防本部 遠山 誠一

竹田市消防本部 倉野 逸人

宮崎県東湯消防組合消防本部 勉 直希

指宿南九州消防組合消防本部 西村 勇大

本部町今帰仁村消防組合消防本部 小那覇 哲理

はづい登はん（基礎訓練）



自己確保の命綱を結索した後、垂直はしごを一五メートル登はんする。災害建物への進入等、消防活動には欠かせない訓練。

【標準所要時間 二四秒】

表彰者

【北海道】

八雲町消防本部 菊地 涼一
札幌市消防局 升元 佑亮
大雪消防組合消防本部 小柳 建二

とかち広域消防局 清水 陵嗣

【東北】 八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部 田中 洋光

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 高橋 尚治

久慈広域連合消防本部 板谷 武史

西置賜行政組合消防本部 鈴木 真

仙台市消防局 小松 大樹

石巻地区広域行政事務組合消防本部 阿部 晃平

相馬地方広域消防本部 上野 燎

【関東】 長岡市消防本部 高橋 晃平

前橋市消防局 長塩 典久

石橋地区消防組合消防本部 田村 祐也

【東海】 ひたちなか・東海広域事務組合消防本部 皆川 翔

四街道市消防本部 石渡 瞬

東京消防庁 木下 亨

横浜市消防局 百裕 太

甲府地区広域行政事務組合消防本部 水谷 岳史

【東海】 静岡市消防局 河合 淳矢

田原市消防本部 中島 僚介

【東近畿】 揖斐郡消防組合消防本部 柴田 大朗

鈴鹿市消防本部 崎村 晃弥

【東近畿】 新川地域消防本部 宮本 一樹

福井市消防局 豊田 悠登

湖北地域消防本部 中村 孝紀

城陽市消防本部 石井 翔

奈良県広域消防組合消防本部 上野 慶輝

【近畿】 和歌山市消防局 上中心 太郎

【近畿】 和泉市消防本部 中 光貴

【中国】 高砂市消防本部 古田 勝也

【中国】 玉野市消防本部 尾崎 新一

【中国】 福山地区消防組合消防局 内藤 久嗣

益田広域消防本部 堂床 俊彰

【中国】 防府市消防本部 山根 祐斗

【中国】 小豆地区消防本部 堂山 大智

板野東部消防組合消防本部 奥野 晃大

【中国】 四国中央市消防本部 坂下 慶彦

高知市消防局 米女 拓志

【九州】唐津市消防本部 荒巻裕太郎

阿蘇広域行政事務組合消防本部 宮川 将一

竹田市消防本部 姫野 孝彰

日向市消防本部 間 政文

薩摩川内市消防局 下村 圭祐

比謝川行政事務組合三ノ井消防本部 田崎 海斗

ロープ応用登はん（連携訓練）



登はん者と補助者が二人一組で協力し、器材を使わずに塔上から垂下されたロープを五メートル登はんする。

【標準所要時間一六秒】

表彰者

【北海道】恵庭市消防本部 柴崎 勇士

とかち広域消防局 市川 敦士

【東北】八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部 森田 和麻

秋田市消防本部 田村 大地

遠野市消防本部 三浦 聖史

最上広域市町村圏事務組合消防本部 山口 裕毅

石川 哲也

仙台市消防局 伊藤 基樹

石巻地区広域行政事務組合消防本部 阿部 大貴

相馬地方広域消防本部 坂本 知弘

魚沼市消防本部 佐藤 貴洋

【関東】館林地区消防組合消防本部 山田 大介

那須地区消防本部 齊藤 充平

鹿行広域事務組合消防本部 榮田 雄飛

上尾市消防本部 木村 隆宏

四街道市消防本部 千ヶ崎 裕馬

東京消防庁 泉 良太

鎌倉市消防本部 菅原 智貴

笛吹市消防本部 上原 明彦

上田地域広域連合消防本部 小山 真樹

【東海】稲沢市消防本部 藤巻 泰喜

不破消防組合消防本部 遠藤 良規

鈴鹿市消防本部 木村 直真

【東近畿】砺波地域消防組合消防本部 雨宮 祐太

奥能登広域圏事務組合消防本部 甘利 隆浩

福井市消防局 伊藤 郁人

大津市消防局 谷口 裕希

宇治市消防本部 荒川 直也

石川 哲也

伊都消防組合消防本部 松本 康人

【近畿】和泉市消防本部 山本 雅之

尼崎市消防局 藤井 直樹

高梁市消防本部 濱田 晃靖

【中国】鳥取県西部広域行政管理組合消防本部 竹中 貴一朗

東広島市消防局 小森 真仁

浜田市消防本部 赤井 大樹

光地区消防組合消防本部 坪島 拓実

【四国】大川広域消防本部 佐藤 直喜

室戸市消防本部 藤田 聖嗣

直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部 三村 由敬

【九州】唐津市消防本部 一倉 孝典

佐世保市消防局 岡本 哲弥

熊本市消防局 菊池 賢

宮崎市消防局 寺内 浄徳

大隅肝属地区消防組合 新垣 良和

比謝川行政事務組合三ノ井消防本部 義間 健二

末吉 弘太

豊重 彰太

吉村 康晴

中原 光輝

村上 亮太

大坪 信一郎

福嶋 健吾

ほくく救出（連携訓練）



三人一組（要救助者を含む）で、一人が空気呼吸器を着装して長さ八メートルの煙道内を検索し、要救助者を屋外に救出した後、二人で安全地点まで搬送する。ビルや地下街等で煙に巻かれた人を救出するための訓練。

【標準所要時間一分二秒】

表彰者

【北海道】函館市消防本部 小野 和晃

登別市消防本部 横田 明宣

札幌市消防局 宮川 皓太

北留萌消防組合消防本部 大村 卓也

釧路東部消防組合消防本部 小塚 雄史

佐久間 優来

飯島 竜樹

寺澤 陽介


【東北】横手市消防本部 寺澤 陽介

【四国】
高吾北広域町村事務組合消防本部
齋藤 庸平
二宮 拓也
小田 定史

【九州】
県央地域広域市町村圏組合消防本部
吉谷 誠
田中 数馬
山本 啓太
有明広域行政事務組合消防本部
西村 直樹
安田 慶
池田 達哉
河野 光
豊田 耕作
川尻 大貴
栄留 真哉
垂水 孝裕
小堀 亮博
宮下 翔也
大平 司
川口 惇司

出水市消防本部

【山陽】
山陽広域市町村圏組合消防本部
山本 啓太
有明広域行政事務組合消防本部
西村 直樹
安田 慶
池田 達哉
河野 光
豊田 耕作
川尻 大貴
栄留 真哉
垂水 孝裕
小堀 亮博
宮下 翔也
大平 司
川口 惇司



ロープブリッジ救出（連携訓練）



表彰者

横浜市消防局

鎌倉市消防本部

峡南広域行政組合消防本部

長野市消防局

津島市消防本部

豊明市消防本部

加賀市消防本部

城陽市消防本部

近畿
大阪市消防局

柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部

稲葉 洋史 石井 紘太 原 健太 藤本 良太 宮下 伸明 落合 恭一 島崎 裕一 佐藤 孝晃 青木 航伍 高谷 晋伍 村松 晋伍 保坂 心哉 佐野 裕也 中澤 雄介 坂口 和也 湯澤 友規 武田 陽介 鶴見 俊介 中村 純也 山本 崇雅 山田 一樹 三輪 翔太 高野 信道 木場 大旗 宮川 雄登 河 拓郎 大向 星大 松岡 光二 墨屋 有希 安永 大希 佐田 翔平 池田 紳伍 内田 晃二 西川 敏也 森本 延之 三谷 誠 榎木 延之 上 裕介 向江 拓也 門 晃平 嶋崎 直人

中国
岡山市消防局

安来市消防本部

四国
三観広域行政組合消防本部

九州
佐賀広域消防局

県央地域広域市町村圏組合消防本部

大島地区消防組合消防本部

繪面 暢利 宮崎 宗也 藤原 裕司 新田 亮介 清水 一希 池田 圭佑 藤田 和希 下村 達也 秋山 顕悟 住吉 由我 塩田 良文 黒田 凌 古賀 雄大 中溝 知秀 江口 悟史 松尾 瑛二 出口 夏喜 吉武 徹哉 藤本 将平 上田 純平 安原 真琴 安田 大悟 池田 優也

引揚救助（連携訓練）



五人一組（要救助者を含む）で、二人が空気呼吸器を着装して塔上から塔下へ降下し、検索後、要救助者を塔下へ搬送

表彰者

し、四人で協力して塔上へ救出した後、ロープ登はんにより脱出する。地下やマンホール等での災害を想定した訓練。
【標準所要時間二分九秒】

東北
仙台市消防局

喜多方地方広域市町村圏組合消防本部

関東
川越地区消防局

成田市消防本部

横浜市消防局

東海
土岐市消防本部

近畿
大阪市消防局

柴田 玲 砂金 迪 横澤 浩史 森 勇貴 鈴木 英司 武蔵 傑 渡部 泰斗 猪瀬 元太 小椋 智洋 遠藤 雄太朗 関 善仁 渡部 俊介 西島 遼 菊池 哲友 村上 一哉 櫻井 真吾 田中 裕貴 菅澤 周太 川嶋 容助 宮内 隆尚 寺村 尚悟 柳澤 康平 平澤 麟太郎 灰谷 明俊 安西 隆佑 林 祐仁 土田 浩貴 桑下 智一 梅村 亮太 細田 正平 高森 勇作 的場 一輝 豊福 和武 松川 幸人 船越 将人

障害突破（連携訓練）



五人一組（補助者を含む）で、四人が緊密な連携の下、一致協力して「乗り越える」「登る」「渡る」「降りる」「濃煙を通過する」の基本動作により五つの障害を突破する。災害現場の様々な障害を想定した訓練。
【標準所要時間二分三七秒】

九州
いちき串木野市消防本部
川畑 康平 西川 佳毅 安樂 翔太 川口 健太 岩下 孝平 指宿南九州消防組合消防本部
中 亮太 東 圭佑 福田 祥太 沖田 真也 柴田 翔平

二井 識嗣 田中 佑太朗 梅橋 知弘 北園 直忠 吉崎 功志

表彰者

【東北】

八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部

仙台市消防局

【関東】
入間東部地区消防組合消防本部

千葉市消防局

成田市消防本部

流山市消防本部

東京消防庁

中居 祐介 田代 量泰 松田 高史 岡本 芳樹 石川 健児 阿部 康平 穴戸 大樹 内田 健一 土田 泰弘 鈴木 翔太 堀内 敬祐 吉田 丈史 伊藤 拓生

優樹 繁樹 達也 潤也 拓実 龍太 裕平 航平 慎悟 植田 一郎 布留川 拓耶 大森 脩登 村松 博文 宮島 隼厚 熊谷 龍之介 山田 陽一 大崎 洋平 石田 文旭 田中 裕敏 天野 陽介 西谷 大輔 堀谷 悠樹

【東海】

揖斐郡消防組合消防本部

【東近畿】

東近江行政組合消防本部

京都市消防局

【四国】

徳島中央広域連合消防本部

【九州】

有明広域行政事務組合消防本部

鹿児島市消防局

薩摩川内市消防局

増田 遼旨 藤原 慶和 飯沼 雄人 三田 綾也 高橋 寛史 上林 健亮 井口 健吾 辻田 敦士 友田 真光 福永 光也 内田 創太 荻須 諒太 石田 爽之 中田 真之 石川 真木 正木 教督 川真田 圭史 明石 達也 森岡 大紀 前川 務

大村 真琴 西山 和彦 永野 貴裕 田中 洋史 高田 稔大 増元 彰洋 島川 正也 畑中 拓海 釜付 亮介 大坪 遼 上川 燭勝 橋口 智文 山田 尚也 室田 竜也 中村 亮平

水上の部

基本泳法（基礎訓練）



「じゅんか飛び込み」で入水した後、常に顔が水面に出た状態で、基本的な泳法である「めき手」と「平泳ぎ」でそれぞれ二五メートルずつ泳ぐ。
水難救助の基本的な泳法を習得するための訓練。

【標準所要時間四〇秒】

表彰者

【東北】
仙台市消防局

【関東】
柏崎市消防本部

桐生市消防本部
宇都宮市消防局
さいたま市消防局
越谷市消防本部
上尾市消防本部
市川市消防局
東京消防庁

高橋 典久 木村 隼 武田 雄貴 大野 翔平 横倉 大広 岡田 哲哉 高橋 健人 池田 玲央 及川 翔啓 小林 翔太 福田 翔太

藤沢市消防局

【東海】
瀬戸市消防本部

四日市市消防本部

【東近畿】

京都市消防局
宇治市消防本部

【近畿】

枚方寝屋川消防組合消防本部

神戸市消防局

【中国】

津山圏域消防組合消防本部
出雲市消防本部

【四国】

八幡浜地区施設事務組合消防本部
菊地駿一郎

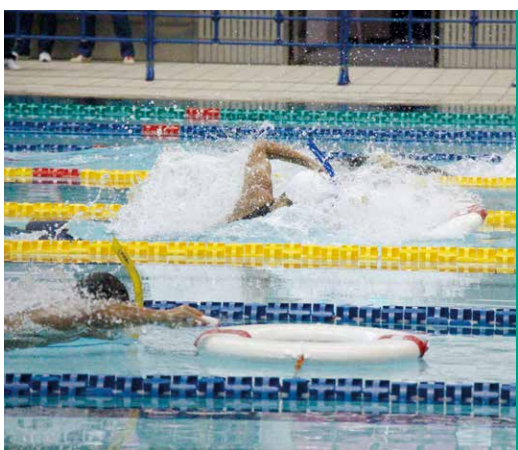
【九州】

杵藤地区広域市町村圏組合消防本部

長崎市消防局
熊本市消防局

山田 克駿 岩崎 陽 中村 健太郎 高山 裕司 山本 洋平 向井 裕貴 野上 拓馬 古澤 健太郎 寺崎 雄一 足立 智喜 池田 智樹 箕田 夢大 吉村 純平

複合検索（基礎訓練）



マスク、スノーケル、フインを着装し、スノーケリングで障害物（救命浮環）を突破しながら水中に沈められたリング四

個を検索して、引き揚げる。水中の行方不明者の搜索を想定した訓練。

【標準所要時間四〇秒】

表彰者

【東北】大船渡地区消防組合消防本部

仙台市消防局

葛西 直也
八巻 翼
大科 優

【関東】

川口市消防局
さいたま市消防局
朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部

東京消防庁

横浜市消防局
茅ヶ崎市消防本部
静岡市消防局

高瀬 宏和
高木 大地
清水 優吾
堀 暢
吉川 尚吾
関口 尚果
金子 哲也
福井 拓哉
杉山 晴紀

【東海】

名古屋消防局
知多市消防本部

松波 雄太
皆川 雄貴

【東近畿】

東近江行政組合消防本部
京都市消防局

入江 優太
日高 敬介
幸前 純一

【近畿】

大阪市消防局
堺市消防局

【中国】

松井 秀
山崎 亮太
田内 悟之
日高 尊行

【四国】

宇和島地区広域事務組合消防本部
山光 裕也

【九州】

杵藤地区広域市町村圏組合消防本部
熊本市消防局
豊見城市消防本部
片山 誠也
杉山 潤

溺者搬送（連携訓練）



二人一組（要救助者を含む）で、救助者が「じゅんか飛び込み」で入水後、要救助者（溺者）を注視しながら近づき、チンブールで確保した後、ヘアークャリーにより救助する。

【標準所要時間四二秒】

表彰者

【東北】仙台市消防局

柏崎市消防本部

高崎市等広域消防局

川口市消防局

上尾市消防本部

東京消防庁

川崎市消防局

【東海】小牧市消防本部

三重紀北消防組合消防本部

【東近畿】京都市消防局

相模中部消防組合消防本部

【近畿】神戸市消防局

【中国】岡山市消防局

【九州】熊本市消防局

山下 恭史
浅尾 喜之
兵後 佑昇

鎌近 真行
森井 恒成
寒川 聡太
後藤 渉

原田 良平
津田 智哉
石丸 亮介
古澤 健太郎

濱田 佑樹
豊田 力

戸田 真太郎
福原 華乃

人命救助（連携訓練）



三人一組（要救助者を含む）で救助者が「二重もやい結び」のロープをたすき掛けにして要救助者の位置まで泳ぎ、要救助者をクロスチェストキヤリーで確保し、補助者が救助ロープをたぐり寄せて救助した後、再び水没しつつある要救助者（訓練人形）を水面に引き揚げ、救助する。

【標準所要時間一分二三秒】

表彰者

【東北】仙台市消防局

新潟市消防局

【関東】川崎市消防局

志太広域事務組合志太消防本部

【東海】名古屋消防局

【近畿】神戸市消防局

【九州】佐賀広域消防局

荒木 祐太郎

大森 脩平

三塚 雅文

田澤 奨也
加藤 慶大
水口 元氣

菅沼 寛也
片上 裕介
森迫 練

亀山 貴弘
大石 達也
星野 有美

種村 郁哉
田中 一希

柳瀬 純平
大西 貴之
津田 智哉

千綿 研二
前野 拓也
児玉 知洋

溺者救助（連携訓練）



三人一組（要救助者を含む）で救助者と補助者の二人が協力して浮環にロープを結着後、補助者が浮環をプール内へ投下して救助者が二メートル先の要救助者の位置まで搬送し、これに要救助者をつかまらせ、補助者がロープをたぐり寄せて救助する。

【標準所要時間四三秒】

表彰者

【北海道】
日高中部消防組合消防本部

齋藤 一駿

川筋 健悟

【東北】
仙台市消防局

高橋 典久

塩釜地区消防事務組合消防本部

佐藤 大樹

【関東】
横浜市消防局

引地 敏生

程島 弘成

川崎市消防局

小谷 将一

磐田市消防本部

厚海 龍馬

【東海】
鈴鹿市消防本部

馬瀬 健太郎

【東近畿】
大津市消防局

谷口 孔二

北川 直之

【中国】
岡山市消防局

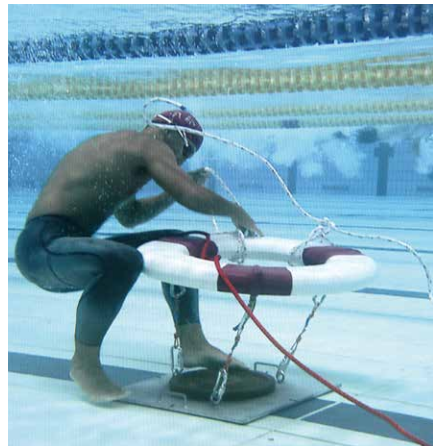
永達 伸一郎

【九州】
天草広域連合消防本部

宮崎 健一

水中結索（連携訓練）

山田 雄喜



三人一組で水中の結索環に、第一泳者は「もやい結び」、第二泳者は「巻き結び」、第三泳者は「ふた回りふた結び」のそれぞれ指定された三種のロープ結索を行う。水中におけるロープ結索技術を習得するための訓練。

【標準所要時間一分四六秒】

表彰者

【東北】
釜石大槌地区行政事務組合消防本部

澤田 翼

仙台市消防局

山口 峻平

新潟市消防局

尾形 祐貴

【関東】
前橋市消防局

荒木 祐太朗

新潟市消防局

武田 宏輔

【東海】
川口市消防局

小川 雄毅

【近畿】
齋藤 恭介

中澤 修平

【中国】
里見 達紀

浅井 将利

東京消防庁

【東海】
名古屋消防局

石川 豊大

【近畿】
神戸市消防局

近藤 翔平

【中国】
津山圏域消防組合消防本部

美若 翔多

【四国】
高知市消防局

浅川 太智

【九州】
水俣芦北広域行政事務組合消防本部

松本 祐真

霧島市消防局

宮本 祐希

【中国】
谷口 誠司

西條 友昭

【近畿】
河内 翔平

尾口 冬樹

【東海】
三木 翔平

三木 翔平

【中国】
尾口 尚吾

尾口 尚吾

【近畿】
吉川 尚吾

吉川 尚吾

【東海】
石川 翔平

石川 翔平

【中国】
河内 翔平

河内 翔平

【近畿】
美若 翔多

美若 翔多

【四国】
高知市消防局

高知市消防局

【九州】
水俣芦北広域行政事務組合消防本部

水俣芦北広域行政事務組合消防本部

霧島市消防局

霧島市消防局

【中国】
谷口 誠司

谷口 誠司

【近畿】
河内 翔平

河内 翔平

【東海】
三木 翔平

三木 翔平

四人一組で第一泳者が水面を、第二泳者が水中をそれぞれ検索し、水没している要救助者（訓練人形）を発見して水面へ引き揚げた後、第三泳者と第四泳者が協力して対岸の救出地点まで搬送し、救助する。

【標準所要時間一分四二秒】

表彰者

【東北】
八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部

老久保 亮太

【関東】
静岡市消防局

杉山 哲弘

【東海】
大垣消防組合消防本部

長屋 吉輝

【近畿】
京都市消防局

金森 友亮

【中国】
岡山市消防局

池嶋 史明

【東海】
大垣市消防局

末松 竜也

【近畿】
大阪市消防局

堤 勇樹

【中国】
岡山市消防局

日高 尊行

【東海】
大垣市消防局

末森 宏行

【近畿】
京都市消防局

幸前 純一

【中国】
岡山市消防局

池嶋 史明

【東海】
大垣市消防局

末松 竜也

【近畿】
大阪市消防局

堤 勇樹

【中国】
岡山市消防局

日高 尊行

【東海】
大垣市消防局

末森 宏行

技術訓練

定められた救助方法や資器材に縛られることなく、創意工夫のもとで、より安全で迅速・確実な訓練を発表するもの。

水陸上の部

【東北】
宮城県
仙台市消防局

消防司令補	新田 陽介
消防司令補	武田 恭平
消防司令補	菊地 翔平
消防士長	湯村 孝行
消防士	佐々木 辰也
消防司令補	千葉 昌弘

(想定内容)

想定は、「東日本大震災において津波の流入を食い止める防波堤の役割を果たした仙台東部道路周辺。津波により押し流された家屋や車両の上に、救助を求める複数の住民が取り残されている現場」とします。

多量の瓦礫と浸水という過酷な活動環境下において、仙台東部道路上から隊員二名が浸水区域に進入、限られた人員と資器材で如何に安全、確実、迅速に要救助者を救出するかということをテーマに訓練を実施します。

【訓練の着眼点】

- ① 浸水区域での活動を容易にするために改良した胴長を着装する。
- ② 地上に強固な地物が無く、かつ次の要救助者へと転戦対応することを目指すに、隊員自身が支点となりロープブリッジを展開することで、短時間で即応したアプローチを実施する。
- ③ 津波再来に備え、緊急退避を想定した活動を実施する。



岩手県
大船渡地区消防組合消防本部

消防士長	中平 光
消防士長	吉田 京太郎
消防副士長	林 輝彦
消防副士長	山田 隆一
消防副士長	藤原 圭貴
消防副士長	渡辺 翔
消防副士長	山下 育史

(想定内容)

想定は、「津波で被災した二階建て建物屋上に、要救助者一名が取り残されている現場」とします。

倒壊建物や津波によるがれき等により道路が封鎖されているため建物直近への車両部署はできず、また、建物屋内階段等による上階への進入はできないため、隊員は、携行した必要最小限の救助資器材を使用して要救助者までの進入動線を確認し、シンブルに救出することを旨とし訓練を実施します。

【訓練の着眼点】

- ① 建物を超えてロープを設定する際

に、建物屋上の縁部分にロープが直接当たらないよう地上でその保護を行う。
② 救助隊員のPPE（自己防衛装備）を活用し救助活動を実施する。



水上の部

【北海道】
旭川市消防本部

消防司令	栗谷川 佳伸
消防司令	廣嶋 亨
消防士長	菅原 一将
消防士長	谷 洋平
消防士長	橋場 史明
消防士長	窪田 圭祐
消防士長	九島 大樹
消防副士長	千代 祐生
消防副士長	高橋 春彦
消防副士長	須貝 僚太

(想定内容)

想定は、「旭川市の中央部を貫流する、日本で三番目に長い一級河川の石



狩川で、釣りをしていた男性二人の一人が誤って落水し流れ、それを救出しようと入水した男性一人も流れられた現場」とします。

訓練は二部構成とし、第一部では、上流から流れてくる要救助者を、橋上から懸垂降下し入水した二名の隊員が確保した後、バックアップ隊員のスローバック補助により、安全・迅速・確実に要救助者を救出します。

第二部では、川の特徴を考慮し、スタンマンの技術を駆使したボートコントロールによりボートを自在に操作して、中州に留まっている要救助者をボートに収容した後、バックアップ隊員のスローバック補助により、安全・迅速・確実に要救助者を救出します。

消防服試着・放水体験

防火服を着装して消防車から延びるホースで狙いを定めて放水開始！

本物の炎を前に少し緊張気味の子も。無事に消火活動を完了した子どもたちの顔は達成感に満ち溢れていました。



消防車両展示・最新消防車搭乗

東日本大震災発生から約1時間後に仙台港に津波が襲来した高さ7.1メートル（気象庁調べ：推定）。

あらためて震災での津波の高さを実感するとともに、「仙台・宮城」の地で本大会が開催できたことに誰もがよろこびを感じていたのではないのでしょうか。



遊具エリア

遊具エリアでは、「消防車プレイランド」・「消防車ロードトレイン」・「ふわふわエアドーム」が子ども達に大人気！「ふわふわで楽しかった！」と明るい声が聞かれ、最後まで長い列ができていました。



キッズレスキュー体験

はじめてつけたハーネスに車両に張られたロープ。自分の力で反対側のゴールに到着したらレスキュー隊員の仲間入り。「あんなに早く渡れるなんてすごいね！」と、参加隊員に聞かせてあげたい一言。



地震体験

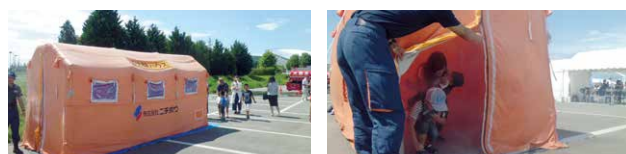
東日本大震災では、地震の規模はM9.0、最大の震度は7。様々な揺れを再現できる起震車での地震体験に長蛇の列ができていました。

あの未曾有の被害をもたらした東日本大震災を経験し、職員からの地震発生時の注意事項に真剣に耳を傾け、身を守る方法について学んでいました。



濃煙体験

口をおさえて、姿勢を低くして煙の中から脱出！「煙で前が見えなかったかな？」と尋ねると「ちゃんとしゃがんでたから平気だった」と誇らしげ。「もう一度やる！」と頼もしい子どもたちでした。



はしご車搭乗

「たかーい！」と見上げながら歓声をあげる子どもたち。いざ乗り込むときにはやや緊張気味でも、怖くなかった？と聞くと「楽しかったよ！」と明るく答えてくれました。当日は晴天に恵まれ、みなさん会場を一望できたことでしょう。



応急手当体験

一定のリズムで心臓マッサージ！大人も子どもも真剣そのもの。体験したお父さんからは「なんとなく知っていたけど、見るのと実際にやるのでは全然違いますね」と汗を拭いながら話してくれました。



防災・減災学びのエリア

「防災・減災学びのエリア」では、企業や学校関係、地元団体による防災・減災に関する様々な取り組みを見て・体験できる防災グッズの展示などのブースが設けられ、訪れた人々も興味深く見学していました。



ミニステージ

陸上の部訓練会場のミニステージでは、消防団による間近に見るはしご乗りは迫力満点！

水上の部訓練会場の屋外では、仙台市と石巻市の消防音楽隊が演奏。炎天下の中で憩いの場を提供！



第46回 全国消防救助技術大会 市民インタビュース

新宮さんご家族とご友人のみなさん

● 殉職した主人の後輩たちが今回大会に出場するので、京都から家族で応援に来ました。

● 主人は東日本大震災の際、緊急消防援助隊としてこちらに派遣されました。きつとこの大会に来たかったと思います。

● 会場は広くて、色々なイベントがあり子供達も喜んでいきます。

● 消防士のみなさん、事故等には本当に気を付けてください。自分の命は自分で守ることを忘れないでください。現場から殉職者がなくなることを心からお祈りいたします。



佐々木さんご友人のみなさん

● 今日は、地下鉄のポスターを見て応援に来ました。

● 消防士さんはみんなカッコイイですね。ロープを登ったり、渡ったり凄いです。

● 会場には全国から消防士さんが来ていて、お祭りみたい。消防車に乗れたり沢山のイベントがあつて面白いです。やさしくてカッコイイ消防士さんこれからも応援しています。頑張ってくださいね!!



中川さん・里田さん

● 私たちは、家族が出場するため応援に来ました。

● 地区指導会も見に行きました。全国大会は各地域の代表選手が出場していても迫力があり圧倒されました。

● イベント会場には、様々な特殊機能を持った消防車両が展示されていて驚きました。特に、地震、津波のための消防車の水陸両用消防車があることにびっくりしました。

● 東日本大震災の時に応援に来ていただき心から感謝しています。



落合さんご家族

● 今日は、主人が大会に出場するので、神奈川から家族で応援に来ました。

● 隊員の動きが素早く、また連携が取れていて日々の厳しい訓練の成果だと思いました。

● いろいろな訓練やイベントが行われていて、見応えのある素晴らしい大会でした。参加隊員・関係者の皆さま大変おつかれさまでした。



渡邊さんご友人のみなさん

● 今日は、知人が出場するので応援で来ました。

● 大会は、お祭りのようでとても盛り上がっていました。

● 訓練中の姿はともて格好良かったです。そこには日々のひたむきな努力があるからだと感じました。

● 全国大会が東日本大震災の被災地である宮城県で開催され、全国から人が集まってくれたことはとても嬉しく思いました。

● これからも体につけて、市民のために頑張ってください。

林さん・古関さん

● 今日は、知人が大会に出場するので、友人と応援に来ました。

● 今日のような暑い日でも一生懸命に訓練している消防士さんは本当に素晴らしいと思います。

● 東日本大震災から初めて全国大会が宮城県で開催されるのは、とっても嬉しいです。

● 消防職員のみなさんはこれからも日々の訓練に努めていただき、市民のために頑張ってくださいと思います。





「ベガルチアリーダーズ」

開会式の後、陸上会場において、ベガルチア台の応援活動を行っている「ベガルチアリーダーズ」によるオープニングアトラクションが行われました。同チアリーダーズは、地域へのイベントにも多数参加し地元の応援団としての役割も担っています。

音楽とともに登場し、開始と同時にパワフルでスピード感に溢れるパフォーマンスを披露し、持ち前の笑顔で元気を届け、会場を一体感で包み込み一気に雰囲気を作り上げました。

中心メンバーの一人である阿邊このみさんは、「四六回目の開催となる伝統と格式のある大会において、オープニングパフォーマンスができたことを、大変うれしく思います」と満面の笑みをみせれば、ルーキーの大和田樹里さんは、「テーマダンスでは、ご来賓や隊員の皆様も一緒に手振っていただき、とても感動しました」と語り、満足そうな表情からは充実感がみなぎっていました。



「利府太鼓」

ハーフタイムショーとして、水上会場において、利府町のキャッチフレーズ「未来に羽ばたく若い利府」の思いを和太鼓に託し、練習を重ねてきた利府太鼓の九名による勇壮な「利府太鼓」が披露されました。

利府太鼓を率いる代表の高橋久代さんは、「東日本大震災では、多くの消防の方に助けていただいた。その時の感謝の気持ちを伝えるという想いで皆、力を出し切って演奏しました。」とお話してください、また、複数の太鼓を組み合わせて打つセット打ちで来場者を圧倒した千葉怜さんは、「全国から消防職員が集まると聞き、責任感を持って稽古をした。日本の音、太鼓の音を聞いて、これから頑張ってもらいたい。利府太鼓は全国で活動しているので、また、どこかで一緒にできると良いです。」と笑顔でお話されました。



「仙台市消防音楽隊・石巻広域消防音楽隊・塩釜地区消防事務組合消防本部」

閉会式の前、陸上会場において、仙台市消防音楽隊と石巻広域消防音楽隊、塩釜地区消防事務組合消防本部、総勢五七名による消防音楽隊特別演奏が行われました。

演奏は「糸乱れぬ迫力あるものであり、カラーガード隊「グリーン・ジュエルズ

SENDAI」の演奏にあわせた演技が来場者を魅了しました。

仙台市消防音楽隊長の鶴沼清孝さんは演奏前に、「この宮城県一つになっての合同演奏は初の試みで、東日本大震災の時に力を貸してくださった時の感謝の想いを音に込めて演奏します。」とお話され、また、石巻広域消防音楽隊長の高橋英之さんは、「東日本大震災では全国から仲間が駆けつけてくれた。その時の感謝と、全国の皆さんに、この演奏で頑張っ

て頂きたいという気持ちで準備し、練習をしてきました。」とお話されました。



AR動画配信サービスのご案内

スマートフォン、タブレットで動画を見ることができます。

ARアプリを使用して動画を見る方法は下記を参照してください。

無料ARアプリCOCOAR2のダウンロードはこちら♪

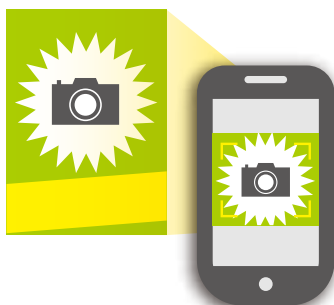
iOS版・Android版
ダウンロード



1 アプリを
ダウンロードする！



2 アプリを起動し
マーカー※をかざす！



3 動画や音楽などが
自動再生される！



※マーカー画像：スマートフォンやタブレットのカメラで読み込む画像です。
●「COCOAR2」のご使用はWi-Fi、またはLTE環境を推奨しています。
●回線混雑状況等により画像の認識や動画再生が遅くなる場合があります。

AR (拡張現実) とは…

ARとは、マーカーをスマートフォンやタブレットをかざすと動画や音楽などが自動再生されます。



一般財団法人全国消防協会
Firefighters' Association of Japan

— 安心への選択 —

消防職員とその家族を守る団体保険です！

全国消防グループ保険（生命保険）

消防職員医療保険（損害保険）

消防職員傷害保険（損害保険）

消防職員賠償責任保険（損害保険）

一般財団法人全国消防協会の消防団体保険は、全国16万人の消防職員の助け合いの制度です。
消防職員とそこそご家族の皆様の福利厚生に是非ご利用下さい！

お問い合わせは ☎ 0120-119-147（生命保険） ☎ 0120-065-988（損害保険）

消防団体保険の収益は、全国消防救助技術大会の開催をはじめ、全国の消防職員のための事業の実施に活用されています。



環境保全のため植物油インキを使用して印刷しています。

第46号 平成29年10月25日発行

編集 発行 一般財団法人 全国消防協会

〒102-8119 東京都千代田区麹町1-6-2
アーバンネット麹町ビル 電話 03(3234)1321(代表)